

令和3年度事業報告

I 会 議

1 総 会

- (1) 期日 令和3年5月11日（火） 13時30分～
- (2) 場所 徳島県教育会館小ホール
- (3) 表彰 教育功労者 342名
- (4) 議事

次の議案について、いずれも承認を得た。

第1号議案 令和2年度事業報告に関する件

第2号議案 令和2年度決算報告並びに監査報告に関する件

第3号議案 役員改選（案）に関する件

理事及び監事

理事 佐藤 利弘（常勤）理事長

守田 光重（一般・非常勤）専務理事

蔵本 憲昭（一般・非常勤）

伊丹 賢治（一般・非常勤）

山北美由起（石井幼稚園長・非常勤）

阿部 孝弘（撫養小学校長・非常勤）

大 泉 計（富田中学校長・非常勤）副会長

前 田 茂（城南高等学校長・非常勤）会長

片山 隆志（鳴門教育大学附属中学校長・非常勤）

監事 外山真寿美（津乃峰小学校長・非常勤）

上原 英二（一般・非常勤）

第4号議案 令和3年度事業計画（案）に関する件

第5号議案 令和3年度予算（案）に関する件

2 役員会等

(1) 理事会・運営協議会

開催日	議 事
平成2年度第4回理事会 令和3年 4月20日(火)	<ol style="list-style-type: none"> 1 総会資料について 総会全般について(役割分担等) 令和2年度教育功労者表彰候補者について 令和2年度事業報告・決算報告・監査報告 令和3年度役員改選(案)について 令和3年度事業計画(案)予算(案)について 2 第72回日本連合教育会研究大会香川大会について 3 大ホールの今後について
代表理事選出理事会 令和3年 5月11日(火)	<ol style="list-style-type: none"> 1 代表理事の選定について 代表理事に 佐藤 利弘 理事が理事全員の賛同を得て、本人もこのことについて承諾し就任した。
第1回運営協議会 令和3年 5月11日(火)	<ol style="list-style-type: none"> 1 第72回日本連合教育会研究大会香川大会について 2 令和3年度教育研究指定校募集について 3 令和3年度特色ある学校(園)活動支援事業募集について
第1回理事会 令和3年 7月 2日(金)	<ol style="list-style-type: none"> 1 資産運用について 2 常任委員会について 3 徳島県教育会館修繕計画 4 令和2年度後期事業について 5 その他
第2回理事会・運営協議会 令和3年10月15日(金)	<ol style="list-style-type: none"> 1 第135回徳島県教育会総会における講演会講師について 2 第73回日本連合教育会研究大会東京大会について 3 令和3年度事業報告(中間)について 4 日本連合教育会拡大常任理事会報告 5 その他
第3回理事会・運営協議会 令和4年 2月25日(金)	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和4年度助成金について 2 令和4年度事業計画(案)について 3 令和4年度予算(案)について 4 第135回徳島県教育会総会の日程について 5 第73回日本連合教育会研究大会東京大会について 6 令和4年度徳島県学事関係職員録について 7 運営協議会定款改正(案)について 8 令和3年度後期事業報告・業績予測について 9 日本連合教育会理事会・評議員会報告

II 事業別の状況

1 教育の研究、研修、文化、学術の振興に寄与する教育支援事業（公益目的事業1）

徳島県教育会の研究主題に基づき、本県教育の刷新充実と教育実践上の課題解決を図るため、各校種の教育団体への研究・研修支援並びに教職員の職能向上事業への研究・研修助成や教育講演会等の事業を行った。

(1) 教育協議会

① 第1回徳島県教育会教育協議会 6月15日（火）

- ・公益社団法人徳島県教育会教育協議会について
- ・令和2年度教育研究論文・教育実践記録の審査結果
＜令和2年度教育研究賞＞
教育研究論文の部の応募数は18編で、うち特選2編（各7万円）、入選5編（各5万円）、奨励賞2編（各2万円）
教育実践記録の部の応募数は10編で、うち特選2編（各4万円）、入選3編（各3万円）
- ・令和3年度特色ある学校（園）活動支援事業の審査について
- ・令和3年度教育研究指定校の審査について

② 第2回徳島県教育会教育協議会 7月6日（火）

- ・令和2年度教育研究賞授賞式
鳴門教育大学教授 川上 綾子先生より講評をいただいた。
- ・令和3年度特色ある学校（園）活動支援事業の審査
＜特色ある学校（園）活動支援校＞ 各校10万円
鳴門西小学校（鳴門市） 高 浦中学校（名西郡）
松 茂中学校（板野郡） 池田高等学校（高 校）
池田支援学校美馬分校（高 校） 教大附属特別支援学校（高 校）
- ・令和3年度教育研究指定校の審査
＜教育研究指定校＞ 各校20万円
研究主題 「変化する社会の中で、心豊かにたくましく生き抜く『人財』を育む教育活動」
－未来へつなぐ教育環境を創造し、一人一人が輝く教育活動の推進－
板 野中学校（板野郡） 穴 吹中学校（美馬市）
藍 住中学校（板野郡） 城西高等学校神山校（高 校）
富岡東高等学校羽ノ浦校（高 校）
- ・令和3年度教育研究論文・教育実践記録の募集要項（案）について
- ・令和4年度特色ある学校（園）活動支援事業の募集要項（案）について
- ・令和4年度度徳島県教育会研究主題について
- ・令和4年度教育研究指定校の募集要項（案）について

(2) 第72回日本連合教育会研究大会香川大会 新型コロナウイルス感染症の拡大で紙上開催

- ① 大会誌送付による紙上開催と提案発表YouTube配信視聴
- ② 大会主題 「不透明な時代にあって、自らが輝き未来を創造する日本人の育成」
- ③ 発表者 第9分科会 「幼稚園・小学校・中学校の連携」（令和元年度徳島県教育会研究指定校）
阿南市椿泊小学校 米田 茂生校長
「教育現場にレクリエーション活動を導入して」
- ④ 記念講演 演題「輝く未来を創る力、知的好奇心を育む～宇宙物理学者からのメッセージ～」
講師 佐藤 勝彦氏 宇宙物理学者
（各都県研究会事務局配信） 日本学術振興会学術システム研究センター所長
高松市こども未来館名誉館長

(3) 日本連合教育会理事会等（理事長・理事・評議員出席）

6月25日（金）第1回理事会（Zoom）、8月18日（水）第2回理事会（Zoom）、10月8日（金）
拡大理事会（参加+Zoom）、2月18日（金）理事・評議員会

- (4) 教育文化講演会助成事業（各7万円）+徳島県教職員互助組合助成金（※幼小園長会なし・開催団体のみ）
- | | | |
|--------------|----------------|--------------|
| ① 幼稚園・こども園長会 | ② 小学校教育研究会（実施） | ③ 中学校教育研究会 |
| ④ 徳島市教育会 | ⑤ 鳴門市教育会 | ⑥ 小松島市教育会 |
| ⑦ 阿南市教育会 | ⑧ 吉野川市教育会 | ⑨ 阿波市教育会（実施） |
| ⑩ 美馬市教育会 | ⑪ 三好教育会 | ⑫ 勝浦郡教育会 |
| ⑬ 名東郡教育会 | ⑭ 名西郡教育会 | ⑮ 那賀郡教育会 |
| ⑯ 海部郡教育会 | ⑰ 板野郡教育会 | ⑱ 美馬郡教育会 |

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響で教育文化講演会中止でも教育会から助成。実施団体のみ徳島県教職員互助組合助成

(5) 各種教育振興助成事業

- | | |
|---|---------|
| ① 科学教育費 | 61.27万円 |
| ② 社会科研究選賞費（県小学校教育研究会社会部会，県中学校教育研究会社会部会） | 各5万円 |
| ③ 生活科作品展費（県小学校教育研究会生活科部会） | 10万円 |
| ④ 事務職員研修費（県公立小中学校事務職員研究会88.5万円，県公立高等学校事務職員協会29.2万円） | |
| ⑤ 学校栄養職員研究費（県栄養教諭・学校栄養職員研究会） | 4.35万円 |

(6) 専門部会（各研究会等）助成事業 ※（積算式 20万円+(1,000円×会員数)+調整額）

- | | | | |
|-----------------|-----------|-------------|-----------|
| ① 幼稚園・こども園研究協議会 | 71.25万円 | ② 小学校教育研究会 | 304.025万円 |
| ③ 中学校教育研究会 | 184.955万円 | ④ 高等学校教育研究会 | 119.015万円 |
| ⑤ 特別支援学校部会 | 58.745万円 | | |

(7) 単位教育会助成事業 ※（積算式 10万円+(500円×会員数)+調整額）

- | | | | | | |
|-----------|---------|-----------|---------|-----------|---------|
| ① 徳島市教育会 | 75.9万円 | ② 鳴門市教育会 | 28.25万円 | ③ 小松島市教育会 | 21.45万円 |
| ④ 阿南市教育会 | 35.8万円 | ⑤ 吉野川市教育会 | 23.35万円 | ⑥ 阿波市教育会 | 22.6万円 |
| ⑦ 美馬市教育会 | 21.6万円 | ⑧ 三好教育会 | 26.6万円 | ⑨ 勝浦郡教育会 | 13.35万円 |
| ⑩ 名東郡教育会 | 11.65万円 | ⑪ 名西郡教育会 | 20.25万円 | ⑫ 那賀郡教育会 | 13.55万円 |
| ⑬ 海部郡教育会 | 18.05万円 | ⑭ 板野郡教育会 | 41.3万円 | ⑮ 美馬郡教育会 | 14.1万円 |
| ⑯ 高等学校教育会 | 76.1万円 | | | | |

(8) 研究大会助成事業

- | | |
|--|-----|
| ① 徳島県小学校教育研究大会（統一大会A分野） | 5万円 |
| ② 徳島県中学校教育研究大会（教科別統一大会） | 5万円 |
| ③ 徳島県高等学校教育研究会 第43回中国四国地区病弱虚弱教育研究連盟研究協議会 | 7万円 |
| ④ 令和3年度中国・四国農業高等学校長教育研究協議会 | 中止 |

2 幼児・児童生徒の文化や芸術，学術振興に寄与する支援事業（公益目的事業2）

- | | | |
|------------------------------|---|-----|
| (1) こども科学教室 | 7月31日（土） | 48名 |
| (2) こども木工教室 | 7月25日（日） | 48名 |
| (3) わくわく算数教室 | 8月1日（日） | 36名 |
| (4) 児童木工工作「木とふれあうコンクール」受賞作品展 | 10月18日（月）～10月24日（日） | |
| (5) 第78回科学作品展 | 10月28日（木）～10月31日（日） 392点を展示 | |
| | 第1部工夫創作品の出品数47点のうち特選は10点，第2部研究記録の出品数310点のうち特選は63点，第3部収集・標本類の出品数35点のうち特選は8点。 | |
| (6) 社会科研究選賞展と生活科作品展 | 10月28日（木）～10月31日（日） 計105点を展示 | |
| | 社会科研究選賞展への出品数51点のうち特選は8点，生活科作品展の出品数は54点。 | |
| (7) 第78回科学経験発表会 | 10月31日（日）小中発表校 35校35件 特選10件，入選25件 | |
| | 10月31日（日）高校発表校 4校 8件 特選 5件、入選 3件 | |
| (8) 徳島交響楽団ジュニアオーケストラ定期演奏会 | 12月12日（日） | |
| (9) 中高生による人権交流集会 | 12月19日（日） | |

3 学術文化，教育研究，研修に寄与する施設貸出事業（公益目的事業3）

教育会館の貸出・開放については，専門委員会や理事会の協議を経て，優先的に公益事業に資するよう差別化や特化を図っている。教育関係諸団体が主催する研究大会，研究会，講演会，発表会，さらには幼児・児童生徒の展覧会，発表会等への貸出，会館内の教育関係機関等に対してのテナントとしての貸出等も行った。

また，津波における避難場所として広く県民のために役立つ施設となるよう，災害についての防災マニュアルの作成や住民との連携を密にし，今後も会館を安全・安心・快適に利用していただくための施設設備機能の充実・維持管理等に努めた。

4 教育・文化の振興，発展に寄与する各種研究・調査・資料収集のための出版事業（公益目的事業4）

(1) 「徳島教育」編集委員会

6月8日（火），12月7日（火）

年2回の編集委員会（委員20名）を経て隔月に発行し，3月号で1，204号となった。

(2) 副読本

徳島県小学校「とくしまのどうとく（道徳）」発刊

(3) 補助教材

「こうつうえほん」「小学生の交通読本」「中学生の交通と安全」「高校生の交通と安全」「わたしたちの健康」の発刊

5 「ひと，こと，もの」を考える啓発・キャンペーン事業（公益目的事業5）

講師に文部科学省大臣官房審議官の矢野和彦氏を迎えて「ギガスクール構想について」の講演を予定していたが，新型コロナウイルス感染症拡大の影響により講演会を中止とした。

6 効率的運営のための施設貸出事業（収益事業1）

教育会館の利用を教育関係機関のみならず，広く一般に貸し出すことによる収益を公益目的事業への拡大に努めた，新型コロナウイルス感染症の拡大により会議・研修の貸室が減少した。

7 教育活動の円滑な推進に寄与する調査出版事業（収益事業2）

(1) 「学事関係職員録」の発行

出版発行に当たっては，個人情報等に十分配慮し，頒布についても会員及び教育関係諸団体に限定した。

8 会員の研修・福利厚生，相互扶助事業並びに教育功労者表彰事業（その他の事業）

教職員の資質向上を図るため，海外研修等をはじめ，各種の福利厚生事業や助成事業を行った。

また，本県教育に功労があると認められる20年以上在籍した教職員，及び教育上の研究，教育実践並びに学術文化の向上等に功績が顕著である者に対し，退職時に教育功労者として表彰した。

(1) 研修・福利厚生事業

① 研修事業

・ 県外研修 福島防災研修（2泊3日）

催行人数に達せず中止

・ 一日研修 観劇（梅田芸術劇場）ミュージカル「オリバー」

20名

- ・体験研修
 - ラフティング（高知県大豊町） 催行人数に達せず中止
 - シーカヤックとスノーケリング(海陽町自然博物館マリンジャム) 催行人数に達せず中止
 - 大谷焼陶芸体験（鳴門市矢野陶苑） 23名

②福利厚生事業

- ・ランチ&エステ（エクシブ鳴門） 54名
- ・レクリエーションゴルフ 45名
- ・バドミントン大会 96名
- ・囲碁・将棋大会(夏季将棋は中止) 38名

(2)相互扶助事業

- | | | | |
|-----------------|------|------------|------|
| ① 弔慰金 | 1名 | ② 配偶者死亡慰謝金 | 3名 |
| ③ 家族死亡慰謝金 | 60名 | ④ 実父母死亡慰謝金 | 105名 |
| ⑤ 住宅罹災者慰謝金 | 0名 | ⑥ 不慮災厄者慰謝金 | 0名 |
| ⑦ 長期療養者慰謝金 | 56名 | ⑧ 結婚祝金 | 134名 |
| ⑨ 子の結婚祝金 | 147名 | ⑩ 出産祝金 | 270名 |
| ⑪ 返付金 | 412名 | ⑫ 会員一般貸付 | 2名 |
| ⑬ 事務委託金16各单位教育会 | | | |

(3)教育功労者表彰事業（342名）

Ⅲ 業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況について

(1) 理事及び職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制の運用状況

理事会は法令・定款及び理事会規程等に従い重要事項を決定するとともに、理事の職務の執行を監督している。また、監事は理事会に出席し、理事の職務の執行を監査し、監査報告を作成している。監事はいつでも業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(2) 理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する事項

理事の職務執行は、法令及び定款等に基づいて行われ、その職務執行に係る情報は、理事会議事録に記録され、その記録の保存・管理は、規程に基づき適切に保存及び管理している。

(3) 業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要

理事会は内部統制システムの運用状況について重要な不備がないかモニタリングを常時行っている。